

令和3年度第1回印西市立図書館協議会会議録

開催日時	令和3年7月7日（水） 午前10時00分から午前11時30分		
開催場所	印西市立中央公民館 5階 講堂		
出席者	協議会委員：増田委員、佐々木委員、藤野委員、伊藤委員、倉沢委員、黒澤委員、岩佐委員		
欠席者	武井委員、石渡委員、佐藤委員		
事務局	鈴木生涯学習課長、遠藤大森図書館長、伊藤大森図書館副館長、岩井小林図書館分館長、高橋そうふけ図書館分館長、吉野印旛図書館分館長、伊藤本埜図書館分館長、齊藤主査、稲垣主査、阿久津主査、酒井主任主事、川村主査		
傍聴者	0 名		
会議内容	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 令和2年度図書館事業報告について (2) 令和3年度図書館事業計画について (3) 図書館サービス評価指標について (4) その他 6. 報告 (1) 電子図書館サービスの開始について (2) その他 7. 閉会		
資料	1. 令和2年度事業報告 2. 令和3年度事業計画 3. 第3期サービス評価指標 4. 第4期サービス評価指標 5. 電子図書館サービスの開始について 6. 議題（1）【資料1】補足資料 7. 議題（2）【資料2】補足資料 8. としょかんつうしん（通巻第118号・第119号）	【資料1】 【資料2】 【資料3－1】 【資料3－2】 【資料4】	

協議会の記録（要点筆記）

【会議公開に伴う傍聴席の設置と会議録作成のための録音機材の設置の了解】

【会議録署名委員の指名】

（会議録署名委員の指名から議題まで、議長を倉沢委員にお願いします。）

〈議長〉 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。
会議の円滑な進行にご協力をお願いします。
はじめに、本日の会議録署名委員の指名を行う。
名簿順にお願いしているので、今回は、伊藤委員を指名させていただきます。

【議題】

議題（１） 令和２年度事業報告について

〈議長〉 それでは、議事に入りたい。「令和２年度事業報告について」を議題とする。事務局より説明願います。

〈事務局〉 （令和２年度事業報告【資料１】【資料１補足資料】に基づき説明）

〈議長〉 事務局より説明があったが、この内容に関して質疑等はあるか。

〈委員〉 事業の内容について伺いたい。また、事業の経過、内容、反応などを説明の中に加えていただきたい。

〈事務局〉 令和２年度に関しては、新型コロナウイルス感染防止対策のため事業の内容や時期等を変更している。「クリスマス会」などのイベント型の事業を本等の提供事業「クリスマスほんのおたのしみ袋」や「おうちおはなしセット」に変更している。

〈議長〉 他にご意見がないようなので、議題（１）「令和２年度事業報告について」は、ご了承いただくことでよろしいか。

（挙手で賛成の意）

〈議長〉 「令和２年度事業報告について」は了承されたものとする。

議題（２） 令和３年度事業計画について

〈議長〉 次に「令和３年度事業計画について」を議題とする。
事務局より説明願いたい。

〈事務局〉 （令和３年度図書館事業計画【資料２】【資料２補足資料】に基づき説明）

〈議長〉 只今、事務局から説明があったが、この内容に関して質疑等はあるか。

〈委員〉 事業計画の中で、「環境月間展示」のテーマを「SDGs」に変えている。「SDGs」とは何か。わかりやすいように展示等した方がいいのではないか。

- 〈事務局〉 「SDGs」については、令和3年6月発行のとしょかんつうしん通巻119号、1ページに「SDGs」について環境以外にも取り上げている。
- 〈委員〉 事業計画3ページ、共同事業の「ざぶん賞」の受賞作品展が未定となっているが理由を教えて欲しい。
- 〈事務局〉 時期については未定である。実施するかは指導課に確認する。
- 〈委員〉 「ざぶん賞」を実施するかは決まっていないのか。実施するようであれば、夏休みの宿題で、「ざぶん賞」の作品を作るよう各家庭にお願いしコンクールの作品を作らせたいと思っている。
- 〈委員〉 今年は、「ざぶん賞」はないと聞いている。「ざぶん賞」自体がなくなったのかまでは確認していないが、学校からの応募はしないと聞いている。指導課に確認していただきたい。
- 〈事務局〉 確認する。
- 〈委員〉 「ざぶん賞」の内容を教えてください。
- 〈事務局〉 「ざぶん賞」の委員会が全国にあり、水に関する作文を書いてもらう。図書館は、市内学校の入賞作品を2月から3月に展示している。
- 〈委員〉 何年か前に「ざぶん賞」という募集があるという事で、教育委員会で出来るだけ協力しようと市内の小中学生で応募を積極的にやって欲しいという事で、夏休みの宿題等で行っている。毎年、印西市の小中学生の中から全国の優秀賞に選ばれて文集に載っている。冬にある印西市の優秀児童生徒の表彰もされている。口頭ではあるが、今年は「ざぶん賞」はないと聞いている。
- 〈委員〉 「ざぶん賞」は、利根川など水運があるから参加し、水に関する作文を子どもたちが書いてくれているという事だが、図書館では、子どもたちに水に関する本を提供できているか。出来ていないなら学校図書館と協力して提供して欲しい。
- 〈事務局〉 今までは、水に関する本の提供は出来ていなかったが、今後検討していく。
- 〈委員〉 「SDGs」について、幅広いテーマがあるという事だが、今後、テーマを絞って、本の展示など市民のみなさんに周知して欲しい。7月30日の小倉台図書館で行っている科学あそびは、以前からホームページ等を見て、とてもいい企画だと思う。講師の方の教え方もいいのだろうと思う。小倉台図書館だけではなく、色々な地域の子どもたちに参加してもらえるように事業を拡げて欲しい。

- 〈事務局〉 昨年は、新型コロナウイルス感染症のため事業は行っていないが、一昨年まで、そうふけ図書館もそうふけ公民館と共催で科学あそびを行っていた。今年度は、そうふけ公民館、そうふけ図書館は改修工事のため事業を行うことができないが、人気のある事業なので継続して行っていきたい。
- 〈委員〉 読書週間事業等、各館で展示した本のリストなどは残されているか。もしあるようであれば、来館した際に頂けると良いと思う。
- 〈事務局〉 紙ベースでのリストとして配布している物はないが、読書週間事業や環境月間などの大型展示をした内容については、図書館のホームページに「展示の本」という項目があり、書誌データを結合したリストを載せている。本をクリックすると所蔵状況が分かり予約も出来るので参考にさせていただきたい。
- 〈議長〉 他にご意見がなければ次に移りたいと思うが、よろしいか。
それでは、議題2についてご意見がないようなので、議題2「令和3年度事業計画について」はご了承いただくという事でよろしいか。
- (挙手で賛成の意)
- (議長) 議題2「令和3年度事業計画について」は了承されたものとする。

議題（3）「図書館サービス評価指標について」

- (議長) 次に議題3「図書館サービス評価指標について」を議題とする。
事務局より説明をお願いしたい。
- 〈事務局〉 (図書館サービス評価指標【資料3】に基づき説明)
- 〈議長〉 只今、事務局から説明があったが、この内容に関して質疑等はあるか。
- 〈委員〉 【資料3-1-2】2ページ区分1の(4)市内登録者数は、カードの発行枚数に相当するので累計で増えるはずだが、減っているのは、カードを返す人が多いというイメージを受けるがそうではないはず。実績についてご説明を。
- 〈事務局〉 年度によって増減があるが、基本的に登録者に関しては、3年間利用がなかった方のデータの削除を職員で行っている。引越し等でカードの返却もあるが、手続きを省略される方がおり、利用がないままの方のデータが蓄積していくのは良くないので3年間利用がない方に関しては、削除をして実質利用している方を登録者数として掲載している。

- 〈委員〉 【資料３－１－２】４ページ区分２（７）図書館からの情報発信について、③図書館ホームページの内容を定期的に更新し、メールやＳＮＳ等を活用し、図書館の情報を配信することを検討するとなっているが、具体的に今の段階でどのようにしようというのはあるか。
- 白井市のメールサービスは、総合的に色々な内容が発信されて来る。例えば、防犯の事や文化ホールの催しに関してなど、印西市でも市のメールなどで情報を発信出来たらいいのでは。普段、図書館に興味がない方もメールを見て興味を持ってもらえるのではないかな。
- 〈事務局〉 メールやＳＮＳに関しては、現状としては具体的にどのように活用していくという計画自体が確立していないが、ＳＮＳの有効性は知っているので活用出来たらということで目標値に掲載している。
- 現状では、図書館ホームページの更新を頻繁に行うことに力を入れている。図書館での催し事やとしょかんつうしんの更新や「ピックアップ」といって図書館ホームページのトップページに催しものの報告等を定期的に更新している。
- 〈委員〉 今後、ホームページ以外のメール等の活用なども視野に入れて検討して欲しい。
- 〈事務局〉 検討していく。
- 〈委員〉 【資料３－１－２】７ページ区分５の学校教育支援・家庭教育支援の質的充実の学校への団体貸出件数があるが、学校で利用し大変助かっている。印西市内には学校が多く、教科書に合った本を借りたいという先生方がいる。教科によって違うが、特に国語や総合が多い。借りたい時に他の学校も借りるので冊数が少なく、借りる事が出来ない。今、一人一台子ども達もパソコンがあるので、本がなくても電子書籍の中にその本が入っていると授業で使用出来るといい。本は、貸出の順番を待つが、電子書籍なら好きな時に利用出来ると思うが、そのような事は可能か。
- 〈事務局〉 電子書籍のデータの権利を市がレンタルし、それを利用者に渡す形になるので、無制限に色々な人が見られる形ではない。印西市の電子図書館についても、１冊のデータを１人見ていると他の人は見られない。本によっては、複数見られる本もあるが、基本的には、１冊のデータに１人、終わったら次の人が見る形になっている。イメージされている一度に複数人見るという形は難しいと

というのが正直なところ。電子書籍は、出版されている本が、すべて電子書籍に該当している訳ではないので、学習に役立つ本が電子書籍になっているかどうかという別の話としてある。

今後、要望があれば購入し活用していただけるものがあれば、購入できるようになったら選定の中でサポートさせていただきたい。電子書籍に関しては、団体への貸出の中で利用するのは現状では難しい。

〈委員〉

図書館サービス評価指標は、図書館の運営の改善を図る大きな目標がある。日々、図書館職員は、業務に追われ、色々な事業をやりながらサービスの改善を図ることは難しいと思う。日々の業務に忙殺されながらも改善を図っていかないと図書館の利用が下がっていくのではないかな。図書館職員の使命は、利用者に本を手渡すこと、利用を伸ばすこと、そのために改善を図っていくと思うが、毎年、評価指標を繰り返して見ていくというような事になりがちではないか。改善が図れているか。

図書館の改善を図るには、人件費や資料購入費が、かかるという事を前提にし、コロナ禍にありながらも出来ることを努力していく、指標だけに縛られず、何が出来るかという事について、少しずつ喝を入れる指標にあるのではないかな。出来る事、例えば展示のブックリストを作って配る事にもチャレンジしてもらいたいし、それぞれの事業を毎年同じものを繰り返すのではなく、少しでも状況に合わせた事業の在り方、利用者へのサービス、利用を伸ばすため、本を利用者に届けるための利用促進のための事業をやるなど、図書館職員に喝を入れるためのサービス評価指標と思うので、図書館職員が理解しながら出来る事、利用者に本を届けるにはどうしたらいいのかという事を考えながらサービス評価指標に取り組んでももらいたい。

〈委員〉

数値的なことで気が付いたところで、【資料3-1-4】の区分2の(2)貸出者数(個人)令和2年度実績の数字が、189,309は、事業報告と照らし合わせたところ186,309になっていたが正しい数字はどちらか。

〈事務局〉

186,309が正しい数字となる。

〈委員〉

計画、実施、評価、アクションプランというサイクルで改善をもとめて指標を通して第三者評価を受けて次へ進むというプロセスになるのであろうが、令和2年度の改善点が、次の指標作成にどう反映されているのかを見つつ、令和3年度から7年度のサービ

ス評価指標が出てきていると思うが、令和2年度までの改善点が抽象的な印象を受けた。より具体性を持たせて次の計画に行くためにはどうしたらいいのか、より具体性を持った改善点の表記がなされたらもっと活かすことができるのではないか。

〈議長〉 他にご意見がないようなので、議題（3）「図書館サービス評価指標について」は、ご了承いただくことでよろしいか

（挙手で賛成の意）

〈議長〉 「図書館評価指標について」は了承されたものとする。
次に、4「その他」について、事務局より何か議題にすることはあるか。

〈議長〉 委員の皆さんから何か議題にすることはあるか。

〈委員〉 学校のスクール便での貸出を強化するという事だが、学校もたくさんあり図書館も6館あり、学校サービスの拠点となるところは決まっているのか。それとも6館の中で近い小中学校が拠点となるのか。チーフとなる児童奉仕の専門となる職員が育っているのか。修学旅行や環境のことなど、どうしても教科の進み具合が同じなので本の依頼が殺到する。いろいろな学校から同じ依頼があったときに図書館のほうで交通整理をする職員、それをキャッチし資料費にどう反映するか、日々構築していくことが図書館には必要と思うが、学校サービスへの拠点づくりはきちんと進んでいるのか。

〈事務局〉 学校サービスに関しては、6館のそれぞれのエリアからサービスをする。図書館の規模によって本が揃わない等あるのでそれぞれのネットワークを使って全館で対応している。月に一度、全館の主任が集まる選書会で情報交換や情報の提供をして全館をあげてサポートしている。

〈委員〉 学校にとって授業を進める上で、頼りになる職員がそれぞれの館に居てくれるといいと思う。

〈議長〉 他に意見がないようなので、以上をもって、本日の議事はすべて終了した。

議長の任を解かせていただく。

【報告】

〈事務局〉 次第5 報告 引き続き、委員長に進行をお願いしたい。

〈議長〉 それでは、進行を務めさせていただきます。

（1）「電子図書館サービスの開始について」事務局より説明をお

願いたい。

〈事務局〉

（電子図書館サービス【資料4】に基づき説明）

〈議長〉

只今、事務局から説明があったが、この内容に関して質疑等はあるか。

〈委員〉

電子図書館サービスについて学校に周知はしないのか。また、書籍数の拡大については、今後どう考えているのか。

〈事務局〉

学校への周知について、これから色々と図っていきたい。
意見として承る。

電子書籍の点数増加については、今後、徐々に充実させていきたい。

〈委員〉

数的なものはどうなっているか。

〈事務局〉

数的なものに関しては、【資料3-2-2】第4期の印西市立図書館サービス評価指標、区部1所蔵資料の充実（2）電子書籍受入点数【新規】にあるように、年500点受入を令和7年度までの目標として掲げている。

〈委員〉

電子書籍サービスについては、いち早く取り組んで素晴らしいと思う。ただし、350点は少ないのでPRもしにくい数字ではないか。他市の大きな市に話を聞くと、非常に好評で、利用も伸びていると聞いている。印西市の場合、タイトル数が少ない。タイトル数が増えれば増えるほど利用が伸びていくので、是非、コンテンツ数を増やしていただきたい。

また、利用講座もやると良いのではないか。

〈委員〉

7月1日から実施していて、今の状況や課題はあるか。

〈事務局〉

始まったばかりで、全館からの情報共有が出来ていないが、大森図書館での利用者の問合せ内容としては、「ログインの方法がわかりにくい」、「図書館ホームページのパスワードで入れると思いログインしたらエラーとなった」などの問合せが日に2,3件ある。他に質疑がないようなので、報告（2）その他について、事務局から何か報告はあるか。

〈事務局〉

特にない。

〈議長〉

他に質疑等がないようなので、進行を事務局にお返しする。

〈事務局〉

次回協議会の予定につきましては、11月中旬ごろを予定している。日時の詳細については、決定次第ご連絡する。

【閉会】

〈事務局〉

本日の予定は、すべて終了した。

これをもち、令和３年度第１回印西市立図書館協議会を終了させていただく。

令和３年度第１回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

令和３年７月３１日

印西市立図書館協議会

委員 伊藤 理佳